

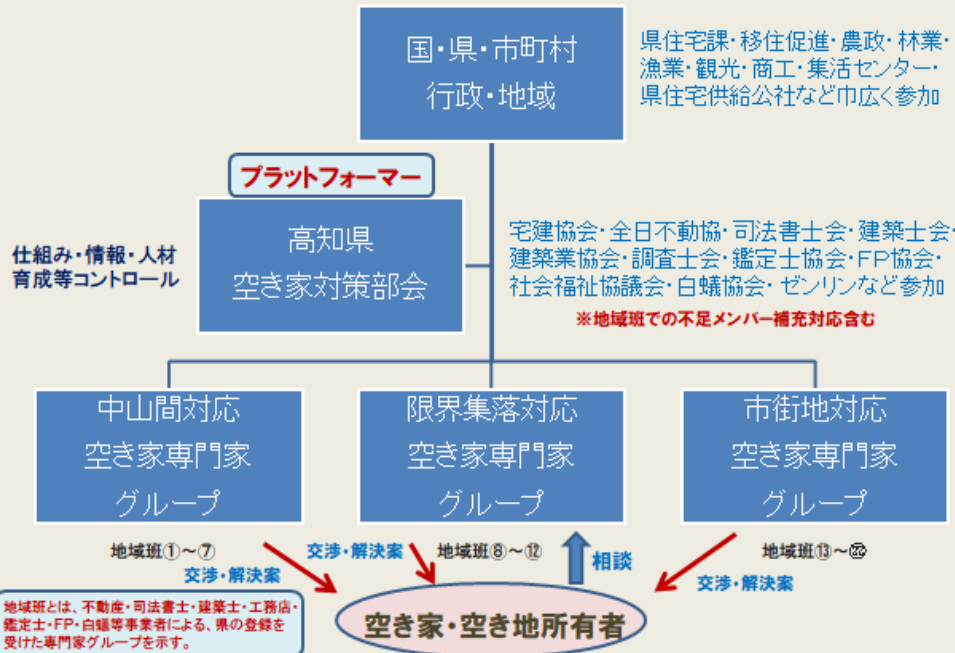
高知県空き家再生・活用促進専門家グループ育成事業

(高知県居住支援協議会 空き家対策部会)

課題と目的	具体的な解決に向けて、将来民間と窓口で解決できる仕組みを確立する
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域事業者連携(各専門事業者 設計・施工・不動産鑑定士・宅建業者・司法書士・FP等)による、空き家専門家グループの仕組みを確立。 ・空き家専門家グループのスキルが一定レベルまで向上するように研修・支援を実施。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家等対策可能エリアも併せて、専門家グループを県行政へ登録する登録制度化として実施。これにより、高知県全域に広く普及することができた。また、個人育成ではなく、専門家グループ全体で育成できたことも大きな成果となった。

○実施体制イメージ

事業体制図



○取組内容

・空き家所有者からの相談物件活用

内観調査を実施し、相談者が色々な可能性を検討出来るような調査と報告・説明スキルの修得研修を実施。

・危険空き家等の判定業務

市町村行政に届いた情報や、空き家調査時の判定による情報などから、危険な空き家等の老朽度判定を、建物内部調査も含め、実施。

・各市町村行政との意見交換実施

地域の空き家専門家グループも含めた意見交換を行い、地域の空き家課題・情報等を共有。

・所有者分析と所有者意向調査の実施

登記事項・固定資産税台帳などの情報を分析し、所有者として確定される物件も、所有者らしき情報レベルの物件もある中で、空き家についての意向調査を実施。